



令和5年2月27日

午前・**午後** 4 時 22 分 受領

No. 1

令和5年2月27日

|    |      |   |
|----|------|---|
| 議長 | 事務局長 | 係 |
|    |      |   |

愛南町議会議長 原田 達也 殿

愛南町議会議員 尾崎 恵一

## 一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

( 答弁一括方式 ・ **答弁分割方式** )

| 質 問 の 要 旨  | 答弁を求める者 |
|--|---------|
| <p>1. 空き家対策について</p> <p>空き家問題は、少子高齢化と人口減少という日本が直面する課題が大きく関係していると考えられます。少子高齢化により人口減少社会が加速する中、単純に総住宅数が総世帯数を上回り、その差が徐々に開いていることが、空き家増加の大きな理由のひとつです。</p> <p>本町でも高齢化に伴い介護が必要となった方が病院や施設への入居を余儀なくされ、元々住んでいた家が空き家として残されることが多くなってきています。さらに、その子供達は都市部や別の地域で生活の拠点を築いていることが多く、実家が空き家になっても戻ってこられない状況が起きていると考えます。</p> <p>このように、人口減少が進む中、増え続ける空き家への対策を強化するため、国は「空き家対策特別措置法」を改正する方針を固めたという報道がありました。適正な管理が求められている今、時代に即した施策が展開されることを期待して次のことを伺います。</p> <p>(1) 愛南町の空き家対策として実施している現行の取り組みについて。</p> <p>(2) 平成27年度より開始した「老朽危険空屋除却事業補助金制度」のこれまでの実績と今後の課題について。</p> | 町長      |

町長

## 2. 結婚支援の取り組みについて

政府は「異次元の少子化対策」を掲げておりまして、3月末に具体策のたたき台をまとめるとしています。今の見通しとしては、児童手当の拡充や育児休業の強化が柱になるようであります。もちろんこれらの「子育て支援策」は、たいへん重要な施策であります。実際、子育て支援が世代ごとにあつくなってきているにもかかわらず少子化は進んでおります。

私は、少子化問題解決のためには、これらの子育て支援と併せて、結婚支援の取り組みの充実により、結婚・出産を望む方々が安心して結婚生活や子育てができることが重要ではないかと思えます。

現在、町は独身男女へ出会いの場を提供し、様々な結婚支援に取り組んでいるのではないかと察します。また、町は未婚率問題の要因の一つに、結婚したくても経済的な理由で結婚をためらう若者が増えてきているのではないかと推測から、平成29年度からは「結婚新生活支援事業補助金制度」を、更に平成30年度からは「新婚旅行支援事業補助金制度」を開始しております。

もちろん結婚はプライベートなことであり、行政が押し付けるものではありませんが、出生数の増加につながる可能性のある若者世代の結婚を支援することは、愛南町の少子化、及び人口減少に歯止めをかけるためにも重要な施策ではないかと思えます。そこで、町の結婚支援について以下の点をお伺いします。

(1) 結婚支援に対する町の方針と、近年の支援状況について。

(2) 「結婚新生活支援事業補助金制度」及び、「新婚旅行支援事業補助金制度」の今日までの実績と今後の課題について。

(3) 今後の結婚支援事業の取り組みについて。